

別紙 1

令和元年度

事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日



一般財団法人 **地域伝統芸能活用センター**
The Center For Promotion Of Folk-Performing Arts

令和元年度事業報告書

I. 事業の概要

当財団は、平成4年に制定された「地域伝統芸能等を活用した行事の実施による観光及び特定地域商工業の振興に関する法律」に基づき、地域の民衆の生活の中で受け継がれ、当該地域の固有の歴史、文化等を色濃く反映した伝統的な芸能及び風俗慣習（以下「地域伝統芸能等」という。）を活用した行事の実施、支援を行うこと等により、観光及び地域商工業の振興を図り、もって、ゆとりある国民生活及び地域の固有の文化等を生かした個性豊かな地域社会の実現、国民経済の健全な発展並びに国際相互理解の増進に寄与することを目的に様々な事業活動を展開している。

令和元年度は、第28期事業年度として、下記の事業を実施した。

- ① 地域伝統芸能等を活用した行事の実施
- ② 地域伝統芸能等を活用した行事の支援
- ③ 地域伝統芸能等に係る活動を行う個人又は団体に対する顕彰
- ④ 海外への広報宣伝
- ⑤ 地域伝統芸能等を活用した行事等に関する情報の収集及び提供
- ⑥ 地域伝統芸能等を活用した行事の実施による観光及び地域の商工業の振興に関する調査、研究及び広報

事業の実施に際しては、観光立国推進基本法に基づく観光立国推進基本計画（平成24年3月閣議決定）において当財団の役割が明記されており、この趣旨に沿って地域の伝統芸能等を活用した取り組みを推進した。

Ⅱ. 事業の実施状況

1. 地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会」の開催

(1)開催概要

地域伝統芸能全国大会は、日本各地に受け継がれてきた伝統芸能等の公演を通じて、観光及び地域商工業の振興と伝統芸能の活性化を図ることを目的として、毎年開催している。

令和元年度は奈良県、橿原市と当財団の主催で、奈良県橿原市において、9月28日（土）、29日（日）の2日間開催した。

- ・催事名称：地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会なら・かしはら」
- ・愛称：日本の祭り in なら・かしはら2019
- ・テーマ：はじまりの奈良 文化の力で日本を元気に
- ・開催期間：令和元年9月28日（土）、29日（日）
- ・開催場所：メイン会場 奈良県橿原文化会館
サブ会場 ジェイテクトアリーナ奈良

(2)開催結果

- ・出演団体：31団体（県内20団体、県外9団体、海外2団体）
- ・来場者数：2日間両会場で約10,630人

(3)大会の様相

① メイン会場(奈良県橿原文化会館)において、祭りの雰囲気盛り上げるため、一般来場者入場時に公演予定団体の代表等が出迎え、一緒に写真を撮るなど来場者に喜ばれた。

高円宮妃殿下御着時には、子供たちが中心となった若宮祭のお囃子の演奏で歓迎した。開催記念式典、地域伝統芸能大賞等表彰式の挙行の後、伝統芸能の公演は、ステージや客席を使って2日間21団体等のパフォーマンスが披露された。

② 文化会館ホワイエにて、丸尾万次郎氏製作の舞楽面の展示、上品寺のシャカシャカ祭（橿原市）や東坊城のホーランヤ（

櫃原市)、奈良県の伝統芸能パネルの展などを開催し、入場者に楽しんでもらった。

更に、2020年の開催地である静岡県をはじめ、出演団体の地元の観光情報コーナーを開設し、各地の観光PRにも努めた。

③ 更にサブ会場では、子どもチャレンジ抽選会、月ヶ瀬誠謡会小鼓体験コーナー、古代衣装体験などのコーナーを設け、市民や観光客に楽しんでもらった。

⑤ 出演者交歓の夕べにおいて、高円宮妃殿下は、各出演団体等と親しく懇談され、一緒に写真に収まるなど、華やかなうちに親睦が図られた。

席上、インドの公演団体より「トラン」の壁掛けが記念品として奈良県知事、櫃原市長に贈呈された。

また、交歓会の最後に、中村会長の声かけにより、6受賞団体の代表と妃殿下を中心に、知事、市長も加わって記念撮影が行われ、交歓会の出席者からも盛大な祝福を受けた。これは、受賞団体にとっては忘れがたい思い出となった。

⑥ これらの模様は、11月5日(火)に、NHK・BSプレミアムにて「日本の祭り in なら・かしはら2019」として放映された。また、この地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会は、公益財団法人JKAの補助を受けて実施した。

(4) 令和2年の開催地

静岡県静岡市 11月28日(土)～29日(日)

(5) 令和3年以降の開催地関係

令和3年は鹿児島県で開催することとし、現在準備を進めている。

2. 地域伝統芸能等を活用した行事の支援

(1) 地域伝統芸能等を活用した行事の後援

貴重な地域伝統芸能やお祭りを全国に紹介し、観光振興や地域の

商工業の振興を通じて地域の経済発展に寄与すること等を目的に開催される以下のお祭り等に対して後援名義の使用承認を行い、開催に協力した。(申請順)

- ・ 第 31 回「民俗芸能と農村生活を考える会」
一般社団法人 全国農協観光協会
令和 2 年 2 月 15 日 東京都千代田区日本教育会館一ツ橋ホール
- ・ 八朔祭
山都町八朔祭実行委員会
令和元年 9 月 7 日～8 日 熊本県山都町浜町商店街一帯
- ・ 第 42 回八尾河内音頭まつり
八尾河内音頭まつり振興会
令和元年 9 月 8 日 大阪府都市公園、久宝寺緑地
- ・ 第 47 回相模人形芝居大会
相模人形芝居連合会
令和 2 年 2 月 11 日 神奈川県立青少年センター
- ・ 第 58 回北上・みちのく芸能まつり
北上・みちのく芸能まつり運営委員会
令和元年 8 月 2 日～4 日 岩手県北上市内各会場
- ・ 2020 ホストタウン・ハウス
ホストタウンアピール実行委員会
令和 2 年 7 月 22 日～9 月 7 日 武蔵野大学有明キャンパス
- ・ ふるさと祭り東京 2020
ふるさと祭り東京実行委員会
令和 2 年 1 月 10 日～1 月 19 日 東京都文京区東京ドーム
- ・ 第 41 回まつりイン ハワイ
まつりイン ハワイ実行委員会
令和 2 年 6 月 12 日～14 日 米国ハワイ州ホノルル市
- ・ 第 45 回ジャパンウィーク 2020 年スペイン・セビリャ
公益財団法人 国際親善協会

令和2年11月21日～27日 スペイン・セビリヤ
・鶴見の田祭り
鶴見祭り保存会
平成2年4月29日 鶴見神社

3. 令和元年度高円宮殿下記念地域伝統芸能賞、地域伝統芸能大賞及び地域伝統芸能奨励賞の表彰

(1) 当財団では我が国各地に伝わる地域伝統芸能等を活用した行事の実施により観光及び地域商工業の振興を図ることを目的として様々な事業を実施しているが、その一環として、毎年度、「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」、「地域伝統芸能大賞」、「地域伝統芸能奨励賞」を選定し、団体又は個人を顕彰する事業を実施している。

「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」は、地域伝統芸能の保存と継承によせられた高円宮殿下のご遺徳を後の世に永く伝えるため、地域伝統芸能の保存、継承、活用のすべてに抜きん出た功績の認められる団体又は個人を表彰する制度として平成15年度に創設した。

また、「地域伝統芸能大賞」は、多年にわたり、地域伝統芸能等の活用を通じ、観光の振興や地域の商工業の振興に顕著な功績があったと認められる団体又は個人を表彰するため、平成5年度に創設した。さらに、「地域伝統芸能奨励賞」は、その地域に伝わる伝統芸能を受け継ぐため、日頃研鑽と努力を重ねている将来有望な新人等を発掘し、奨励するため、平成14年に創設した。

(2) 令和元年度の受賞者の選考のため、平成31年2月28日に有識者、専門家からなる「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等選考委員会」を開催し、以下の通り受賞者を決定した。

○高円宮殿下記念地域伝統芸能賞

一般財団法人春日若宮おん祭保存会（奈良県奈良市：春日若宮おん祭の神事芸能）

○地域伝統芸能大賞

保存継承賞：平戸神楽振興会（長崎県平戸市：平戸神楽）

活用賞：特定非営利活動法人東京高円寺阿波おどり振興協会
(東京都杉並区：東京高円寺阿波おどり)

支援賞：丸尾万次郎(奈良県奈良市：舞楽面・菩薩面・能面の製作)

地域振興賞：あらしやげ会(鹿児島県奄美市)

○地域伝統芸能奨励賞：神戸市立神港橘高等学校龍獅團
(兵庫県神戸市：福州龍舞)

なお、受賞者選考に当たっては、都道府県・市町村、マスコミ関係者、日本商工会議所、全国商工会連合会等に候補者の推薦を依頼し、高円宮殿下記念地域伝統芸能賞及び地域伝統芸能大賞の候補団体・個人から、また、地域伝統芸能奨励賞の候補団体・個人の中から、受賞者が選定された。

(3) 受賞者の表彰式は、令和元年9月28日、奈良県橿原市で開催された「日本の祭り in なら・かしはら2019」の開催記念式典において行われた。また、この大会において受賞者の記念公演も行われた。

4. 海外への広報宣伝

海外へ伝統芸能団体の派遣等を行い、地域伝統芸能等の海外への広報宣伝に努め、日本及び派遣団体地域の広報・宣伝を行うとともに、海外の伝統芸能団体を招聘して国際交流を実施することにより、訪日旅客の拡大を図る事業を行った。

(1) 地域伝統芸能団体の海外派遣等

イ 派遣先：台湾新北市、台北市

派遣期間：平成31年4月26日～29日

派遣団体：東京高円寺阿波おどり振興協会
高円寺阿波おどり連協会

派遣先での活動内容

① 伝統芸能団体の交流公演

26日には、新北市において演舞鑑賞後、沿道の観客を

対象に阿波おどり体験教室を実施した。

28日には台北市において76名の参加者集い、演舞鑑賞のみならず、鳴り物体験や「阿波おどりによる地域の活性化」を通訳を交えた映像にて紹介した。

②会場内での広報宣伝活動

観るだけでなく、鳴り物や踊りを体験することで、来場者との交流をはかり、高円寺への興味を高め、杉並への新たな観光需要を創出できた。

ロ 派遣先 : 台湾台北市

派遣期間 : 令和元年11月16日～17日

派遣団体 : 福島県二本松提灯祭り太鼓台「和雅美太鼓」

派遣先での活動内容

①伝統芸能団体の交流公演

台北市で開催された「日本東北遊楽日 2019」のステージにおいて交流公演を行った。

②会場内での広報宣伝活動

福島県の二本松提灯太鼓台を通じ二本松市の観光の魅力を発信し、地元の来場者に積極的にアピールを行うなど、訪日観光及び公演団体の地域への誘客に貢献が出来た。

ハ 第40回 まつりイハワイ

開催場所 : 米国ハワイ州ホノルル市

開催期間 : 令和元年6月7日～9日

開催地での活動内容

①伝統芸能団体の交流公演

ハワイ州ホノルル市のカラカウア大通り地区特設ステージアラモアナショッピングセンターステージ他で開催された第40回まつりイハワイにおいて交流公演を行った。

②会場内での広報宣伝活動

アラモアナサーフライダーステージで「大江戸助六太鼓流」「武蔵野大学和太鼓」「桜魁」の公演が行われた。観覧

者から大きな声援と拍手が送られるなど、華やかな中にも日本の伝統文化の神髄を現地の人々に十分伝えることが出来た。

(2) 海外の伝統芸能団体の招聘

9月に行った「日本のまつり in なら・かしはら2019」に、台湾台中市傳練堂綜藝団による「龍神舞」及びインドのコンテンポラリーナティヤム・カンパニーによる「バラタナティヤム」を招聘し、伝統芸能交流公演を行った。

(3) その他

6.(1)で作成した冊子「日本の祭り」を日本政府観光局(JNTO)に提供した。

6. 地域伝統芸能等に関する情報の収集及び提供

(1) 国内各地で行われる伝統芸能に関する冊子の発行

日本の国内各地で行われている伝統芸能団体の公演やお祭りの情報はその地域に限られており、広く全国に周知されていないことが多い。そのため、伝統芸能やお祭りの魅力を広く周知するために、それらの内容及び実施時期等の状況を調査し、冊子「日本の祭り」に取りまとめ、年4回発行し、全国の公立図書館や観光協会及び公民館等へ配付した。

(2) ホームページを通じた情報提供

当財団のホームページにおいて、令和元年9月28日、29日に奈良県橿原市にて開催した地域伝統芸能全国大会の情報を掲載したほか、ウェブサイト(まつりーとサイト)による祭り情報の掲載及び参加者の募集等の支援を行った。

7. 地域伝統芸能等を活用した行事の実施による観光及び地域商工業の振興に関する調査

地域伝統芸能等を活用した地域振興事例に関する文献調査を進めた。

8. 総務関係

(1) 理事会の開催

①令和元年5月28日開催（通常理事会）

- 議事1 業務実施状況（報告）
- 議事2 平成30年度事業報告書及び決算書（案）（承認）
- 議事3 公益目的支出計画実施報告書（案）（承認）
- 議事4 財産の管理運用状況（案）（承認）
- 議事5 定時評議員会の開催（案）（承認）
- 議事6 2019年度補助金等の受入及び2020年度補助金等の要望（案）（承認）
- 議事7 運営諮問会議規則の一部改正及び運営諮問会議委員の選任（案）（承認）
- 議事8 理事の再任を定時評議員会に推薦する（案）（承認）
- 議事9 会長、副会長及び理事長の予選（案）（承認）
- 議事10 顧問の委嘱に伴う理事会の同意（案）（承認）
- 議事11 その他報告事項

②令和2年3月9日開催（通常理事会）

- 議事1 業務実施状況（報告）
- 議事2 令和2年度事業計画（案）（承認）
- 議事3 令和2年度収支予算（案）（承認）
- 議事4 令和2年度補助金等の受入（案）（承認）
- 議事5 令和4年度地域伝統芸能全国大会開催地（案）（承認）
- 議事6 令和2年度運営諮問会議の開催（報告）
- 議事7 臨時評議員会の開催（案）（承認）

(2) 評議員会の開催

①令和元年6月17日開催（定時評議員会）

- 議事1 業務実施状況（報告）
- 議事2 平成30年度事業報告及び決算書（案）（承認）
- 議事3 公益目的支出計画実施報告書（案）（承認）
- 議事4 財産の管理運用状況（報告）
- 議事5 2019年度補助金等の受入及び2020年度補助金等の

要望

議事6 理事の選任（案）（承認）

議事7 評議員の選任（案）（承認）

(3) 賛助会員数

39（団体37、個人2）

(4) 賛助金

令和元年度賛助金11,245,000円を受領した。